



広報をより見やすく



西川町長
本間 徳衛

町政は、町民のためのもの、町民の意志にそったものということを基本とし、広報もまた、町民と行政を結ぶパイプ役として機能していかなければなりません。

行政の計画、できごとを町民に知らせるといった基本姿勢をふまえながら、住民サイドの広報として、住民参加の紙面を基調に取り組むため、今号から改正を加えました。

今後とも町民の皆さんにより一層親しみやすい広報紙にしてまいります。と思っていますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

4月になって、めっきり春らしくなりました。草木にも花が咲きはじめ、そんな中で元気いっぱい子供たちが遊んだり、花に見いたりしていました。

(曾根諏訪神社内)

▼今号のページ▲

- 02予算の概要……………②③⑤
- 水道ができるまで……………⑥⑦
- わたしの作品・赤ちゃんこんにちば……………⑧
- 健康ページ……………⑨
- 情報・年金コーナー……………⑩
- 行事報告……………⑪
- くわじ・町民のくいき……………⑫

広報にしがわ

4

第426号 昭和62年4月10日

〈2月末日現在人口〉男 5,488 女 5,917 計11,405 (前月比+5)
 転入11 転出10 出生8 死亡4 世帯数 2,655 (前月比+4)

歳出



歳出金 3,654万9千円 1.5%

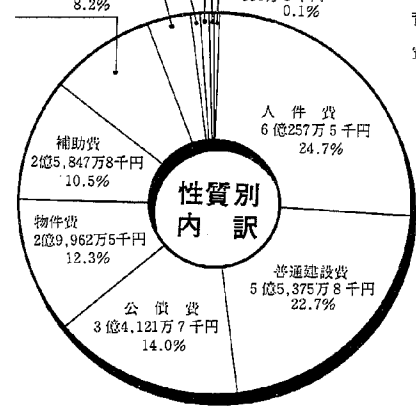
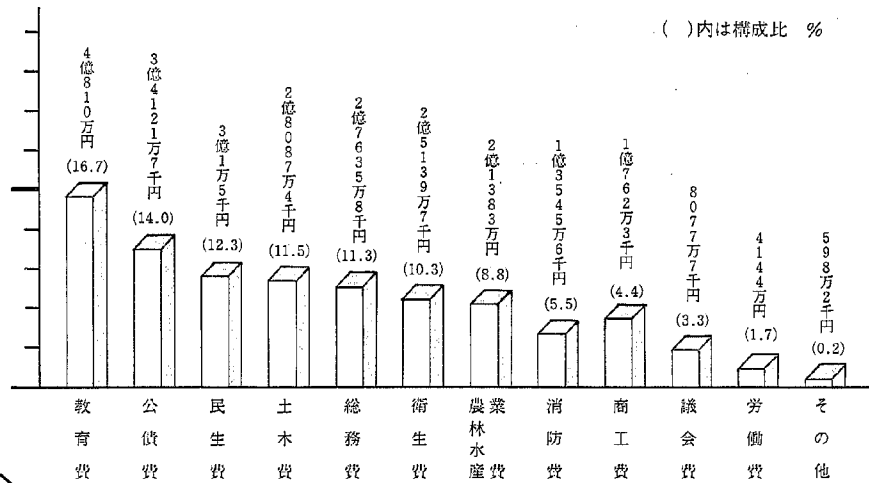
貸付金 1億4千円 4.1%

扶助費 2億1,547万9千円 8.2%

維持補修費 2,525万8千円 1.0%

積立金 2,087万9千円 0.9%

その他 318万1千円 0.1%



また、借金となる町債の発行は、中学校水泳プール建設及び中学校跡地整備事業分の八千二百二十万円です。

その他歳入は、前年度実績見込みなどで年間収入額が積算されています。

年々財政事情が厳しくなり、歳出の抑制が迫られている中で本年度は、特に次ページの事業に重点をおいて編成を行いました。

町民一人当りに使うお金	町民一人当りに使うお金
<ul style="list-style-type: none"> 清掃費 1,659円 消防費 11,877円 老人福祉 (65歳以上) 20,140円 保健衛生費 20,383円 土木費 24,627円 小学校費 (児童数割) 61,622円 中学校費 (生徒数・建費除く) 97,595円 	<ul style="list-style-type: none"> ガス税 229円 軽自動車税 894円 電気税 2,482円 たばこ消費税 3,837円 固定資産税 26,365円 町民税 21,082円

企業会計

●収益的収入	2億9,696万7千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス売上収入 2億7,458万5千円 ●内管工事収益 1,505万円
●収益的支出	2億9,622万1千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●原料ガス購入費 1億8,210万8千円 ●修繕費 1,389万9千円 ●減価償却費 3,137万4千円 ●受注工事費 1,438万8千円 ●企業債償還利息 949万2千円
●資本的収入	50万円
主なもの	●本支管負担金 50万円
●資本的支出	7,228万4千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●本支管布設工事費 3,778万円 ●供給所増設工事費 690万円 ●メーター購入費 755万3千円 ●企業債元金償還金 1,834万6千円

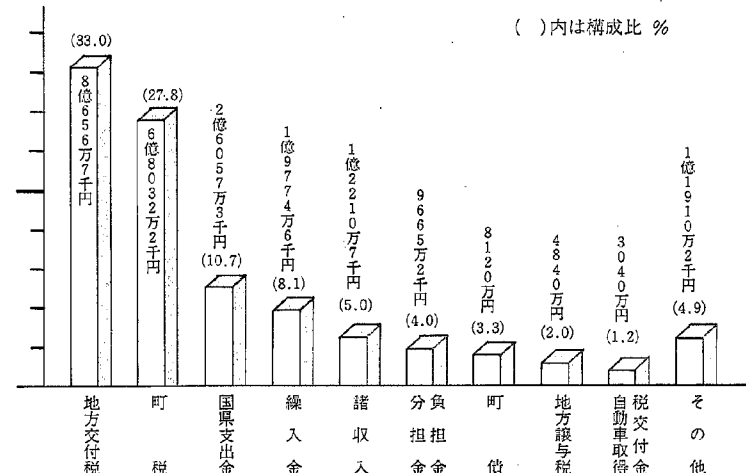
水道事業

●収益的収入	1億5,676万4千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●水道使用料 1億4,392万1千円 ●受託工事収益 849万8千円
●収益的支出	1億4,297万8千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●原水購入費 763万7千円 ●浄水、配水施設修繕費 853万2千円 ●浄水場電力料等 1,068万7千円 ●浄水購入費 539万8千円 ●受託工事費 769万6千円 ●減価償却費 2,603万4千円 ●企業債償還利息 4,465万8千円
●資本的収入	0円
●資本的支出	5,928万2千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●配水設備工事費等 3,680万6千円 ●メーター購入費 419万5千円 ●企業債元金償還金 1,728万1千円

62 予算概要

歳入

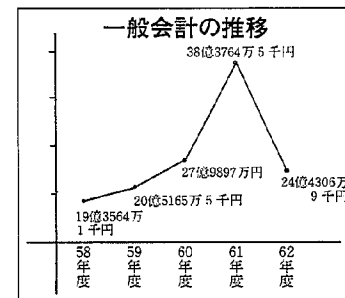
24億4,306万9千円です



昭和六十二年年度の町の予算案が三月定例町議会に提案され議決されました。

昭和六十二年年度一般会計当初予算の総額は、二十四億四千三百六十九千円で、前年度比三六・三％の減になりました。

これを中学校建築費を除く通常予算の比較でみると、六十二年年度は二十二億五千八百七十三万二千円で、六十一年年度の二十一億五千二百八十九万四千円の四・九％増になります。



歳入歳出の概要

歳入の基礎となる町税は、前年度比4・3％増の六億八千三百二十万二千円になりました。

地方交付税は、前年度比7・5％減の八億六千五百六十七千円でした。

国・県支出金は、中学校建築がプール建設以外完成したことから国庫支出金の減少で、前年度比41・1％減の二億六千五百七十三千円です。

基金などからの繰入金金は、今年度の中学校移転改築関連事業に充てられる施設整備基金の取りぐずしと財政調整基金の一部が繰入れられています。

町民一人当りに使うお金	町民一人当りに使うお金
<ul style="list-style-type: none"> ガス税 229円 軽自動車税 894円 電気税 2,482円 たばこ消費税 3,837円 固定資産税 26,365円 町民税 21,082円 	<ul style="list-style-type: none"> 老人保健 国民健康保険事業

特別会計

歳入合計	4億7,060万5千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費交付金 3億2,539万6千円 ●審査支払手数料交付金 136万8千円 ●国庫支出金 9,301万6千円 ●県支出金 2,324万2千円 ●一般会計繰入金 2,654万9千円
歳出合計	4億7,060万5千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費 4億6,522万2千円 ●審査支払委託料 136万8千円 ●総務費 71万4千円

老人保健

●老人保健の対象者は、約1,060人

●年間1人当りの医療費は、約436,000円

前年度より約9.1％増として見込みました。

歳入合計	5億4,325万9千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険税(一般) 2億2,178万円 ●国民健康保険税(退職) 1,579万円 ●国庫支出金 2億1,710万6千円 ●療養給付費交付金 5,438万4千円 ●一般会計繰入金 1,000万円 ●財政調整基金繰入金 2,117万5千円 ●共同事業交付金 200万円
歳出合計	5億4,325万9千円
主なもの	<ul style="list-style-type: none"> ●総務費 1,693万5千円 ●療養給付費 3億4,471万4千円 ●高額療養費 3,100万1千円 ●助産費 525万円 ●葬祭費 120万円 ●老人保健への拠出金 1億2,554万2千円 ●共同事業拠出金 403万4千円

●国民健康保険事業

●国保の対象者は { 一般 約4,300人
退職 約280人

●年間1人当りの医療費は { 一般 約70,000円
退職 約224,000円

前年度より一般は約6.6％、退職は約6.5％増として見込みました。

62 予算概要

昭和62年度一般会計予算

卒業生の進路

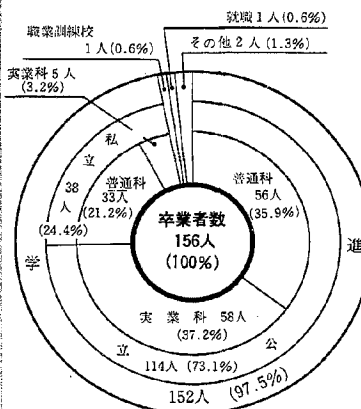
今春、西川中学校を巣立った百五十六人の進路は、次の通りです。公立の普通科五十六人、実業科五十八人です。また、私立の普通科三十三人、実業科五人となっており、その他職業訓練校、就職等で四人となります。(円グラフ参照)

つゆみ生徒には相当の重圧となつたので、教師の助言も合わせて、最後は生徒と両親で決定したものと思われ、生徒たちには、両親をはじめ、家族の協力に対し、感謝の気持ちを忘れないでほしいと思われ、苦難を乗り越え、また一人一人になっていく。温かく見守ってほしいと思います。



▲校長先生との別れ

昭和61年度西川中学校卒業生の進路状況



主な事業

<p>議会費 (単位：千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会報発行費..... 816 会議録調製印刷製本委託料..... 1,903 <p>総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> 区長・嘱託員・部落長役場連絡事項配布謝金..... 4,996 区長等視察研修費..... 1,631 広報発行費..... 4,401 電子計算機等使用料..... 3,327 西川中学校跡地整備実施設計委託料..... 8,900 <p>町勢要覧資料作成委託料..... 850</p> <p>民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> 社協センター運営委託料..... 767 西川町社会福祉協議会補助金..... 3,800 重度心身障害者医療費扶助..... 5,063 長寿祝金..... 1,630 老人家庭奉仕員活動事業委託料..... 7,325 老人牛乳給付事業委託料..... 11,864 老人いこいの家運営委託料..... 4,991 痴呆性老人観察指導事業負担金..... 124 老人クラブ補助金..... 1,200 老人生きがい対策事業費..... 810 保育所運営費補助金..... 2,410 民間保育所職員研修費補助金..... 177 保育所施設整備補助金..... 1,071 児童措置費..... 189,999 <p>衛生費</p> <ul style="list-style-type: none"> 理学療法士等賃金..... 195 <p>(機能訓練事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般健康診査..... 7,159 胃部検診..... 3,740 母子栄養強化事業委託料..... 1,993 人間ドック助成事業委託料..... 2,700 軽自動車..... 689 <p>(保健活動推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオデッキ・テレビ..... 150 <p>巻町外三ヶ町村衛生組合負担金..... 115,294</p> <p>(うち火葬場建設分)..... 28,625</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳児医療費補助..... 1,683 国民健康保険事業特別会計繰出金..... 10,000 老人保健特別会計繰出金..... 26,549 結核検診委託料..... 1,151 肺ガン検診委託料..... 1,320 法定伝染病患者診察等委託料..... 377 衛生害虫防除薬剤費..... 4,100 ごみ収集業務委託料..... 18,599 生ごみ処理器補助金..... 240 <p>労働費</p> <ul style="list-style-type: none"> 持家住宅建設資金預託金..... 40,000 <p>農林水産業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規作物導入実験実証圃土地借上料..... 30 新潟地域園芸振興協議会負担金..... 10 良質米生産推進運動補助金..... 7,200 農村生活改善グループ活動費補助金..... 50 病害虫防除協議会補助金..... 2,700 代官そら豆出荷推進事業補助金..... 280 農業まつり補助金..... 350 転作団地化推進奨励金..... 1,500 水田農業確立対策推進奨励金..... 10,572 見帯集落開発センター整備事業補助金..... 5,400 	<p>水田農業確立対策推進事業費補助金 鏡郷農協集団営農用機械施設整備..... 2,650</p> <ul style="list-style-type: none"> 升湯農協..... 380 善光寺大麦生産出荷組合..... 329 <p>県営広域営農団地農道整備事業負担金..... 1,256</p> <p>県営広域関連農道整備事業負担金..... 8,535</p> <ul style="list-style-type: none"> 農免農道事業負担金..... 1,095 かんがい排水事業負担金..... 5,455 地盤沈下対策事業負担金..... 4,800 農免農道西川北部負担金..... 12,500 安全施設事業負担金..... 1,545 農地流動化奨励金..... 1,000 農村総合整備モデル事業、農道及び排水路工事..... 60,842 農道整備事業..... 23,600 <p>商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業団地案内板設置..... 1,700 商工会補助金..... 7,560 経営改善指導用機械購入費補助金..... 700 地域活性化対策事業費補助金..... 500 商業振興対策事業費補助金..... 250 新潟県観光協会負担金..... 79 西川まつり補助金..... 1,874 <p>土木費</p> <ul style="list-style-type: none"> オーバレー工事..... 4,858 町道舗装・改良工事 (22路線)..... 109,659 交通安全施設整備工事..... 8,640 道路環境整備工事..... 8,000 悪水路改良整備工事..... 7,261 悪水路整備事業補助金..... 9,240 <p>消防費</p> <ul style="list-style-type: none"> 公設消火栓設置工事..... 330 小型動力ポンプ..... 900 消防無線機..... 470 消防自動車..... 10,500 <p>教育費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校費 <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費..... 3,307 備品購入費..... 2,500 豊かな心を育てる教育活動関係費..... 270 ○中学校費 <ul style="list-style-type: none"> 教育振興費..... 3,264 楽器購入費..... 4,000 スクールバス..... 6,134 教育振興費..... 3,342 ○学校建築費 <ul style="list-style-type: none"> 中学校竣工式関係費..... 12,403 水泳プール建設..... 151,396 多目的広場敷地造成..... 7,330 旧西川中学校校舎等取壊工事..... 13,210 ○社会教育費 <ul style="list-style-type: none"> 文化財民具整理関係費..... 164 文化協会補助金..... 150 青少年育成町民会議補助金..... 300 ○公民館費 <ul style="list-style-type: none"> ビデオカメラデッキ・ビデオテープレコーダー..... 587 ○保健体育費 <ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設開放管理委託料..... 673 体育協会補助金..... 1,950
--	--

こんな事業を推進します



ここにスポーツ・ふれあい公園が

中学校移転改築関連事業の総仕上げ

今年度は、中学校移転改築関連事業の総仕上げとして、水泳プールの建設と生徒の豊かな心を醸し出す多目的広場の造成、そして11教室の整備が行われます。このほか旧中学校校舎取壊し及び老朽化したスクールバスの更新をします。

西川中学校跡地利用

県が行う「潤いある水辺河畔整備事業」と協調しながら西川中学校跡地を利用してのスポーツ・ふれあい公園の基本計画になる実施設計費が盛込まれました。

商工業の振興

産業の振興と地元雇用の促進にむけ企業誘致が進められます。また地元商工業活動の促進指導にあたっては、商工会に対し助成が行われます。

水田農業確立対策

町の基幹産業である農業情勢は、水田農業確立対策の減反割当てにより極めて厳しい状況となつています。

そこで、「良質米」の一層の生産を図るとともに、ふるさと特産品開発に代官そら豆の春まき実証圃の設置、代官そら豆出荷推進、そして集団営農用機械施設整備を計画している農協等に補助が行われます。

住民の健康増進

町民が、安心して生きがいをもって健康で暮らすことが出来るよう、総合検診、胃ガン、肺ガン、婦人、糖尿病の検診等による早期発見と訪問指導、健康なんでも相談など疾病の予防から治療、機能訓練に至るまで一貫した保健事業が行われます。

ボランティアの町づくり

物よりも心の豊かさが求められている今日、地域社会に密着した地域福祉が必要となつてい



昨年の総合検診風景

社会体育の振興

スポーツを通しての健康、体力づくりは、町の活性化に欠かせないものです。体育協会の強化育成とレベルアップ、町民がスポーツに一層親しめるよう諸事業が行われます。

一部事務組合の火葬場

巻町外三ヶ町村(岩室村、湯

東村、西川町)による広域火葬場を六十二年十二月供用開始をめぐりとして拡張工事に着手します。

国民健康保険事業への助成

高齢化社会の到来により西川町においても医療費の急増が続いており、国民健康保険財政は、困窮を極めています。

継続事業の充実と推進

この激変緩和、国民健康保険財政基盤確立と健全化のため、一般会計から助成が行われます。

農村総合整備モデル事業は、集落排水路の整備に重点をおき地域住民の生活環境整備を推進します。

農道整備については、県営農免農道西川北部地区が本年度着手されます。また、他の農道整備についても一層の促進を図ります。

道路・生活環境整備事業と国県継続事業の一層の促進

町道など主要幹線道路の整備を重点に、生活関連道路の舗装改良を行います。

悪水路改良については、基幹生活排水路の改良及び工業団地内の排水路の改良を推進します。更に、国県の事業としては、国道116号線の地下横断歩道の新設、通称貝柄バイパス、県道白根・西川・巻線改良工事等の早期完成にも意が注がれることになりました。

コミュニティ助成事業

下山部落にコミュニティ事業を受けて屋外放送施設を設置します。

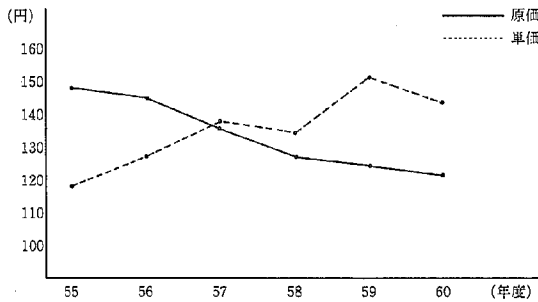


ここに地下横断歩道が

水道のねだん

(グラフ1) 水の原価と単価 (単位:円)

年度	55	56	57	58	59	60
原価	148.40	146.45	137.61	127.91	123.07	122.10
単価	118.05	128.74	139.89	135.22	151.84	142.69
差	△ 30.35	△ 17.71	2.28	7.31	28.77	20.59



水道を1㎡いくらでつくり、いくらで売ったかをみるのに原価と単価で比べます。

供給単価は、製品売上額を売上量で除し、それぞれ1㎡当りの単価とします。

給水原価は、総費用から付帯事業費を除いた通常の費用を売上量で除したものを1㎡当りの原価として用います。

原価が安く、供給単価が高ければ当然利益があることになります。

最近の決算における水道の原価と単価を比べてみますと(グラフ1)のとおりで、昭和57年度から、やや単価が原価を上まわり始めましたが、最近の著しい経済変動等で、単価と原価の差はあまり広がらない見込みです。

ところで、私たちは毎日どのくらいの水を使い、その使用料金はいくらぐらいでしょうか。

過去の平均水道使用量は(表1)のとおりで、昭和60年度の月別の一日平均水道使用料は(表2)のとおりです。お宅と比べてみてください。

(表1) 平均水道使用量

年度	一世帯あたり 一カ月の使用量 ㎡	一世帯あたり 一カ月の使用 料金	一人あたり 一カ月の使用量 ㎡
55	27.84	3,120.64	6.31
56	29.11	3,599.63	6.63
57	29.95	4,068.70	6.84
58	31.93	4,357.78	7.36
59	32.81	4,486.26	7.60
60	33.31	4,559.26	7.75

(表2) 月別1日平均水道使用量 (60年度)

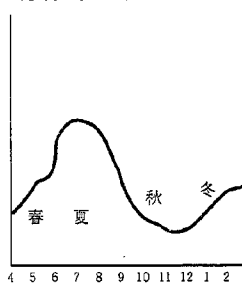
月	使用量	使用料金(円)	月	使用量	使用料金(円)
4	838	115.77	10	1,190	163.93
5	1,000	136.19	11	1,053	143.60
6	1,089	148.86	12	984	133.86
7	1,109	152.11	1	990	134.73
8	1,123	154.15	2	1,060	143.90
9	1,611	225.07	3	1,072	146.71

私たちのくらしと水道

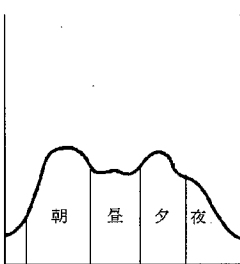
水道の使用量を一日の時間ごととみたのが(図1)です。朝の使用量の増大は朝食の支度などによるものであり、そのあとは、洗濯や工場、事務所に使われます。

一年の月別で見ると(図2)のように夏に多く冬はやや少ないというパターンがみられます。夏に使用量が増えるのは、洗濯、散水、風呂などに多く使われるためです。

(図2) 月別に見た使用量の変化



(図1) 時間別に見た使用量の変化



家庭で、学校で、会社で……一人一人の工夫と努力によって節水の余地は相当ありそうです。排水量が減ることにより、水質改善にもなり、生活環境の保全にも役立つこととなります。

日常生活にもう一度目を向け、合理的な水の使用に心がけ、みんなで快適な毎日をごさるようにならしていきましょう。

貴重な水、あなたと一緒に考えたい

年々、水の需用が増加しています。

家庭でできる節水の方法

- コップ三杯程度ですむ歯みがきも、流しっぱなしでは、一分間約6ℓの水のムダになります。
- パケツ洗いなら五杯ですむ洗車も、流しっぱなしのホース洗いは、30杯以上の水が必要ですので、洗濯でも工夫すれば、一回100ℓですむ水も、流しっぱなしでイルだと24ℓになります。
- 浴槽は小さなものでも200ℓ、せめて残り湯の半分くらいは、洗濯、掃除用などに使いたしう。

安全な飲み水をつくるために

水のしくみ

水道の水は、どのようにしてできるのでしょうか?

西川町の水は西川の上流で岩室村にあるポンプ場からくみ上げて、巻町を経て、西川町の浄水場に「原水」として送られてきています。

一般に原水は、そのままでは水道水として使用できません。飲料水として保持されなければならぬ水質は、厚生省令で水質基準が定められています。原水がこの基準を満たしていることはきわめてまれです。

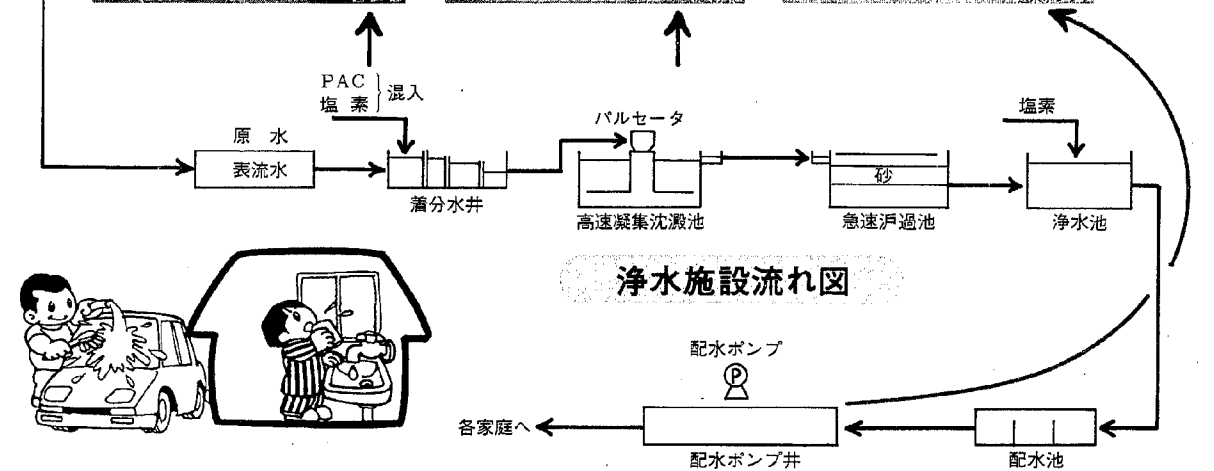
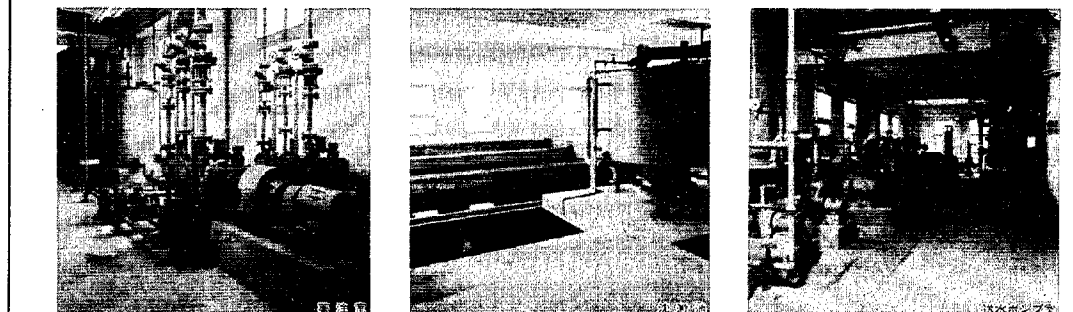
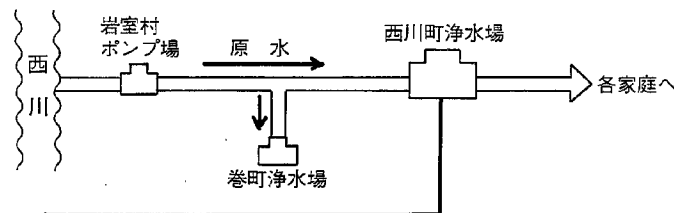
そこで、原水の水質と飲料水として必要な水質の差を何らかの方法で縮めてやるのが浄水操作(水処理)です。

この水質の差をなくすために、原水の中に存在する好ましくない不純物を除去したり、無害化するためにいろいろな方策を組み合わせます。

浄水場では、この「原水」を「浄水(飲料水)」としてつくりあげるために、次のような行程が行われています。

「原水」は、最初に「着分水井」と呼ばれる水槽に入れられ、そこでまず「パック(ポリ塩化アルミニウム)」という薬品と「塩素」が混入されます。この「塩素」は、前塩素処理と言われ、水の中に溶存している鉄、マンガンを除くために用いられ、また、「パック」は濁り水の中にある、ごく微細なドロや有機物、色素成分を凝集させ、短時間に沈澱させるために用いる凝集剤です。

次に「着分水井」を通った原水は、「沈澱池」と呼ばれる水槽に送られ、そこでほとんどのドロなどの不純物が沈澱されます。きれいになった原水は、さらに次の「急速濾過池」という砂の層でできていた池で濾過され、浄水池へ送られ、そこで最後に消毒、滅菌のため塩素(後塩素処理)が注入され、これで完全な上水道用となり、「配水池」「配水ポンプ井」を経て、水道水として各家庭に送られています。



三百二十七人の旅立ち

三月は卒業のシーズン。保育園から大学まで、様々なところで旅立ちがあります。町内（町立）では、西川中学校が三月十四日、小学校は三月二十四日に一斉に行われました。

今年、西川中学校から百五十六人、小学校では、鑑郷五十一人、曾根八十五人、升湯三十五人の合計百七十一人がそれぞれの思い出を胸に、母校を巣立ってゆきました。

中学校では、新装なった校舎での第一回の卒業生となりまして。また、卒業生の大部分が、三日後に控えた高校受験のことが頭にあり、希望と不安の入り混じった顔が並んでいま

した。卒業式は別れの時。特に、中学ではクラスメイトとの別れもあります。式典が終わりに近づくと、すすり泣きの声が今年には特に多く聞かれたようでした。

小学校では、在校生と卒業生で、別れの言葉とお礼の言葉をかわしたり（鑑郷小学校）する姿がみられました。

卒業生の皆さんは、四月からはまた一年生から出発です。小学生、中学生時代の思い出や経験などを糧にして、明るい未来に向かって、元気に飛び立ってほしいと思います。



西川中学校
一人一人に卒業証書を



3年生を送る会



卒業記念植樹



鑑郷小学校



升湯小学校6年生を送る会

小・中学校の卒業式から

西川町保健委員制度

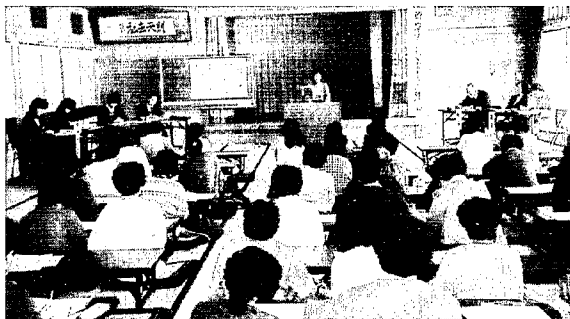
15周年記念研修会に出席して

保健委員代表 山本チヨエ

二月二十六日、十五周年記念研修会が開催されました。町長さんのあいさつに「一九七名の保健委員経験者と行政とが丸となり町民の健康増進に取り組んでいきたい。」と心強いお言葉がありました。続いて住民課長さんから十五年間の保健委員活動の足跡を丁寧でわかり易く説明がありました。そのあと各地区の会長と委員の代表とから体験発表がありました。升湯地区からは、他町村との交歓会が有意義であった事、食生活についてはクローバー運動に基づき進んで取り組んできたこと、また委員一年目で思うように活動ができなかった事、これからも研修会には参加したいとの発表がありました。鑑郷地区からは、行政側との相談のうえ保健委員組織作りには婦人会役員の協力を得て始めたことなど組織作りの苦労話や、伝達講習や老人の招待でお楽しみ会をしたことが部落の人たちに喜ばれたと発表がありました。曾根町部からは住民のニーズに合わせた活動をとり入れていること、多くの方々のふれあいがあったが、しか

し、これからも努力が必要であること、研修会での体験学習を家庭でも実行し食生活改善につとめていることなど発表がありました。曾根農産部地区からは血

ました。保健委員と共に歩んできた町の三人の保健婦さんからは、地区での活動では保健委員の協力がぜひとも必要であること、健康相談会、伝達講習会など、食生活改善で果たす委員の役割が大きいことなど十五年前の思い出もまじえてお話がありました。前保健婦樋口さんからも各地区の過去の活動の話を聞くことができました。巻保健所の保健課長さんからは、西川町の行政と保健委員が一体となって健康問題解決の目標にむかって活動を推進していることはとても立派で、きめ細かい伝達講習などもよくやられているとおほめの言葉をいただきました。毎日忙しく働いている私たちにとって研修会等で勉強することは大切とわかっていてもなかなか出席できないのが現状です。しかし、こうして十五年間の記念研修会を開催することができましたことを心から喜びたいと思います。委員を代表して行政と町民の皆様には厚く感謝申し上げます。



庄相談会の案内を配り、出席者は医師から健康作りの良いお話が聞かれて良かったと喜ばれたこと、大和町との交歓会では活発な委員の活動に教えられることが多かった事など発表があり

母子保健日程



- 乳児産婦健康相談：4月22日(水)
対象／昭和62年2月生まれの乳児と母親、前回未受診者
会場／福祉会館
受付／午前9時～10時
持参／母子手帳・通知はがき
- 対象／昭和60年8月～10月生まれの幼児と前回未受診者
受付／午後1時10分～2時10分
持参／母子手帳・通知はがき
- 2歳児歯科健康診査とむし歯予防のためのフッ素塗布：4月25日(土)
対象／昭和60年1月～3月生まれと昭和59年7月～9月生まれの塗布済者
会場／福祉会館
持参／母子手帳・通知はがき
フッ素塗布希望者は700円
- 日本脳炎予防接種…5月1日(金)・対象／昭和58年4月2日～昭和59年4月1日生まれ、前回未接種者・担当医／和田医師 倉品医師
- ツベルクリン反応検査…5月6日(水)・対象／昭和61年1月1日～昭和61年12月31日生まれ、前回未検査者・担当医／刈部医師
- 三種混合予防接種…5月7日(木)・対象／昭和59年7月1日～昭和60年6月30日生まれ、前回未接種者・担当医／吉田医師 倉品医師
- ツベルクリン反応検査判定及びBCG接種…5月8日(金)・対象／5月6日(水)ツベルクリン反応検査者・担当医／刈部医師以上、会場／福祉会館・受付／午後1時～2時10分・お持ちください／母子手帳、問診票・その他／問診票に記入押印がないと受けられません。

健康なんでも相談

場所／役場相談室
受付／毎週土曜日
午前9時～12時

電話での相談もどうぞ

4月の休日診療医

外科		内科	
4/12(日)	巻町竹前医院 ☎73-2809	4/12(日)	巻町金子医院 ☎72-8030
4/19(日)	岩室村金子外科医院 ☎82-4786	4/19(日)	巻町大越医院 ☎72-2707
4/26(日)	巻町町立病院 ☎72-3111	4/26(日)	西川町西医院 ☎88-2057
4/29(水)	巻町原院 ☎72-2221	4/29(水)	巻町西院 ☎72-6066

※診療時間は、午後6時までです。

わたしの作品



鑑郷小学校(1年) やまがたまゆみさん



談 矢島の牛を描きました。初めて近くから牛を見たとき、体が大きくて目がぎょろんとしてびっくりしました。大きく驚いた様子を描きました。

赤ちゃんこんにちは



学校町

荻野博明さんの長女

「寛子」ちゃん

(61・8・28生まれ)

念願の女の子が生まれ、とても喜んでいました。

四力月の末頃おすわりができるようになり、ハイハイももうすべできています。

最近は大好きなテレビ番組を見せると一緒に声を出して、とてもうれしそうです。

元気に育ってほしいと思います。(話／お母さんの郁子さん)



旗屋

土俵一平さんの長男

「義和」ちゃん

(61・8・17生まれ)

名前の「義和」は私が「和」はお父さんが考えました。

お腹がすかないと全然くすくすいわず、夜もぐっすり眠ってくれてとても育てやすい子です。全部母乳で育てたので丈夫でしっかりしています。

車に乗るのが大好きで、お父さんのお休みには、よく親子三人でドライブに出かけます。

(話／お母さんの春美さん)

ただいま工事中!

入札結果の公表

(百万円以上)

入札日	工事名	場所	工事費 千円	工期	業者名
3/5	配水管工事 布設	升岡	6,250	3/5~ 3/20	(株)水倉組
3/5	ガス管布設 (第1工区)工事	下組	4,050	3/5~ 3/20	(株)志登屋工業
3/5	ガス管布設 (第2工区)工事	下組	4,700	3/5~ 3/20	小林設備工業

求人情報

会社名	住所	募集職種	年齢	求人数
成晃石油(株)	六分	販売員(男)	18~ 25歳	2人
(有)古俣工業所	旗屋	板金工(男)	20~ 50歳	5人
(株)サンテック	升岡	成型工(女)	18~ 40歳	4人

※就職を希望する人は早めに巻公共職業安定所
(☎72-3155)へお尋ねください。



昭和61年度

消防救急車出動状況

事故はチョットした油断から!!

火災

町で昨年発生した火災は八件で損害額は一千八百万円が灰になったこととなります。

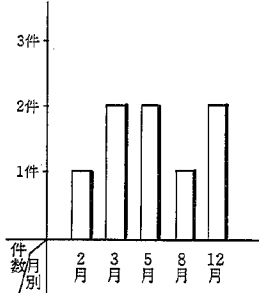
原因は「チョット」した油断がほとんどです。一人ひとりが火の取り扱いには十分注意し、明るく住み良い町にしましょう。

救急

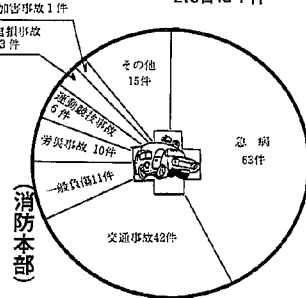
昨年は百五十一件出動し、百四十四人を病院へ搬送しました。これを事故別に表したのが、次のとおりです。

自分の健康に気をつけ事故に遭わないよう十分注意しましょう。

月別火災発生状況



救急事故出動状況



指導農業士と なる



六分 佐藤 克己さん

去る三月十二日、新潟市で、昭和六十一年度農業士認証式があり、当町から六分の佐藤克己さんが、指導農業士として認定され認定証が授与されました。指導農業士は、地域農業の核を担うもので、佐藤さんは稲作のほか転作で花き部門を取り入れた複合経営に取り組んでおり、地域農業の指導者として認められたものです。

人権擁護委員に 委嘱



四番町 田畑 忠衛さん

昨年の十月二十日亡くなられた四番町の植木忠平氏の後任に、四番町の田畑忠衛氏が昭和六十二年三月十五日付けをもって法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けられました。

人権擁護委員は、国民に保障されている基本的な人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために置かれていたものです。

次の問題でお困りの方は、無料で他にもれることは絶対ありませんから、安心してお気軽に自宅へ相談におかけください。

(☎八八—三九五六でもけっこうです。)

なお、田畑忠衛氏の他に、西川町では八番町に加藤豊隆氏(☎八八—三七四七)が人権擁護委員に委嘱されておりますので同じく相談におかけください。

○相談を受ける内容

いじめ、名誉信用の侵害、村八分、教育を受ける権利の侵害、強制圧迫酷使虐待、生活権の侵害、その他お困りの問題

くらし・町民のこころ



おめでた

- 星野未由紀 常世 新栄町
- 大塚 貴臣 信男 東町
- 有坂 怜史 忠人 西汰上
- 和田里由美 俊彦 東町
- 小島 裕史 幸裕 新栄町
- 谷口 貴久 正勝 第一区



おめでとう

- 安藤 久男 安藤久二郎 山下
- 小林 耕田 小林 弘矢 島
- (鈴木里子)
- 福井 勝宏 福井 一子 兵衛野
- (志田和美)
- 藤澤 英世 藤澤 英世 学校町
- (森井恵子)



おめでとう

氏名 年齢 性別 職業
古嶋 久 74歳 本人 五番町

表題の「広報にしかわ」について、今号から改正しました。西川町の町名にもなっている西川の波をアレンジして躍進する西川町をデザインしたものです。